



2026年1月14日

各 位

会社名 東海ソフト株式会社
代表者名 代表取締役社長 尾上雅憲
(コード番号: 4430 東証スタンダード市場、名証プレミア市場)
問合せ先 常務取締役 山下一浩
(TEL. 052-300-8330)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年7月14日に公表しました2026年5月期の通期連結業績予想に関して下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2026年5月期通期連結業績予想の修正 (2025年6月1日～2026年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,960	百万円 1,249	百万円 1,240	百万円 857	円 錢 179.08
今回修正予想 (B)	12,000	1,325	1,350	870	181.69
増減額 (B-A)	40	76	110	13	
増減率 (%)	0.3%	6.1%	8.9%	1.5%	
(ご参考) 前期実績 (2025年5月期)	10,680	1,120	1,147	813	170.15

2. 業績予想修正の理由

国内製造業を中心に、競争力強化や業務効率化を目的としたデジタル化投資が引き続き活発であり、当社の組込み関連、製造・流通及び業務システム関連事業におけるソフトウェア開発需要は高水準を維持しています。公共関連事業も受注・売上ともに堅調に推移しており、この状況を踏まえ、当期の連結業績予想を上方修正いたします。

一方で、ソフトウェア開発案件は、要件の多様化や管理面および技術面での難易度の高まりにより、プロジェクトの複雑性が増しています。このような状況を踏まえ、より精度の高いマネジメントが求められることから、当社グループではプロジェクト管理体制のさらなる精度向上を図り、進捗や原価を定期的かつ多角的にモニタリングする仕組みを運用しています。これらの取り組みにより、上半期に発生している不採算案件における通期業績への影響は軽微にとどまっています。また、下半期は企業の投資判断がより慎重になることから、成長ペースは緩やかに推移す

る見込みですが、安定的な収益確保と中長期的な成長基盤の強化に注力し、事業拡大と持続的な成長を目指して参ります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上